

**1. 基本情報**

- (1) 国名：ケニア共和国
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：モンバサ郡
- (3) 案件名：モンバサ港ゲートブリッジ建設計画（Mombasa Gate Bridge Construction Project）
- (4) 事業の要約：モンバサ地域の湾口部の幅 500m の航路上に、モンバサ島とモンバサ南部のリコニ地区を繋ぐ橋梁の建設等を行うことにより、貿易活性化を図り、もって持続的な経済・社会の発展の促進に寄与するもの。

**2. 事業の背景と必要性**

- (1) 当該国における道路セクター／モンバサ地域の開発の現状・課題及び本事業の位置付け

ケニア政府は、国家開発計画「Vision 2030」において、経済開発を3本柱の一つに据え、それを実現するために道路・鉄道・港湾といった運輸インフラの開発を重点課題の一つとしている。また、「Vision 2030」の中期実施計画を示した「第二次中期計画 2013-2017」では、運輸インフラ分野において取り組むべき課題として、都市部の交通混雑が挙げられており、国内・域内貿易を強化するためにも道路ネットワークの改善が必要とされている。

北部回廊の起点であるモンバサは、ケニアのみならず東アフリカ地域の玄関口として重要な都市であるが、急激な人口増加（2000年69万人→2014年106万人）に対応したインフラ開発の遅れや車両数の増加により、交通渋滞が深刻化している。また、モンバサの経済の中心地であるモンバサ島と南側対岸のリコニ地区とは、幅約500mの海峡で隔てられており、モンバサ島・リコニ地区間の移動手段はフェリーしかないため、特に朝夕の通勤時間帯にはフェリー乗船待ちの長い車列がモンバサ島内の渋滞を助長している（7時から19時の12時間当たりの輸送量（2013年）：車両3,000台・乗客8万人）。さらに、モンバサにおける経済活動はモンバサ島を含む北部地域に集中しており、リコニ地区をはじめとする南部地域の開発は遅れている。かかる状況を改善するためには、海峡を跨ぐ橋梁を建設することにより、モンバサ地域の南北の円滑な交通を確保し、モンバサ北部地域に集中している経済活動を、リコニ地区を含むモンバサ南部地域に分散化させ、南部地域の開発を促進することが重要である。

モンバサの湾口部に、モンバサ島とリコニ地区を繋ぐ橋梁建設を行う本事業は、モンバサ地域の交通渋滞を緩和すると共にモンバサ南部地域の開発を促進し、さらにはモンバサ地域とケニア南部沿岸部との円滑な物流を確保することにより、上述のケニアの国家開発計画の実現に貢献するものと位置付けられる。

- (2) 道路セクター／モンバサ地域に対する我が国の協力方針等と本事業の位置付け

我が国は2013年6月に開催された第5回アフリカ開発会議において、民間の貿易を促進し、アフリカの成長を後押しするため65億ドルの公的資金をインフラ整備に投入することを宣言した。「対ケニア共和国国別援助方針（2012年4月）」では「経済インフラ整備」を重点分野の一つとしており、本事業は同分野の開発課題「輸送インフラ整備」の中の「広域輸送インフラ改善プログラム」に位置付けられる。本事業は、これら国際公約や対ケニア協力方針に合致している。

- (3) 他の援助機関の対応

運輸セクターでは、JICA に加え世界銀行（WB）、アフリカ開発銀行（AfDB）、EU、中国等が主要ドナーであり、各主要ドナーがナイロビを中心に高規格道路を含む道路建設支援を行っている。モンバサ周辺では、AfDB が国道 A109 号線の一部（モンバサ～マリアカニ間）及び海岸沿いの国際幹線道路 A14 号線（キルフィ～モンバサ～ルンガ・ルンガ間）の F/S を実施済。これら AfDB の F/S が事業化すれば、本事業との補完関係・相乗効果が見込まれる。また、TMEA（Trade Mark East Africa）がモンバサ港周辺の道路整備の支援を実施中。さらに、中国がモンバサ - ナイロビ間の鉄道建設のための支援を実施中。

#### (4) 本事業を実施する意義

本事業はケニアの開発課題・政策、我が国の国際公約及び援助方針に合致しており、本事業の実施を支援する必要性及び妥当性は高い。

### 3. 事業概要

#### (1) 事業概要

① 事業の目的：モンバサ地域の湾口部の幅 500m の航路上に、モンバサ島とモンバサ南部のリコニ地区を繋ぐ橋梁の建設等を行うことにより、貿易活性化を図り、もって持続的な経済・社会の発展の促進に寄与するもの。

#### ② 事業内容

- i. 施設、機材等の内容：主橋（アーチ橋）、ループ橋、アプローチ橋、取付道路の建設
- ii. コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネントの内容：詳細設計、入札補助、施工監理等
- iii. 調達・施工方法：（※協力準備調査にて確認）

③ 他の JICA 事業との関係：JICA は 2015 年 3 月より技術協力「モンバサゲートシティ総合開発マスタープランプロジェクト」を実施中。本技術協力を通じて、2040 年を開発目標年次としたモンバサ地域全体の都市開発計画が策定される見込みであり、同計画において本事業は優先事業として取り上げられることが見込まれる。また、円借款「モンバサ港周辺道路開発事業（2012 年 L/A 調印）」により新コンテナターミナルから北部回廊に接続する道路及びモンバサ港の南岸へのバイパス道路を建設中。経済産業省調査によれば、同バイパス完成後も本事業の交通需要は引き続き大きいという結論が導き出されているが、協力準備調査で再度確認予定。

#### (2) 事業実施体制

- ① 借入人：ケニア共和国政府（The Government of the Republic of Kenya）
- ② 事業実施機関／実施体制：ケニア高速道路公社（Kenya National Highway Authority：KeNHA）
- ③ 他機関との連携・役割分担：特になし。
- ④ 運営／維持管理体制：実施監理・維持管理は KeNHA が担当する。過去の円借款及び技術協力の実施にあたり、同機関は技術・資金面ともに問題ないと判断できるが、実施及び維持・管理能力は、再度協力準備調査にて確認する。

#### (3) 環境社会配慮

- ① カテゴリ分類 A B C FI
- ② カテゴリ分類の根拠：本事業は「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2010 年 4 月公布）に掲げる道路、橋梁セクターのうち大規模なものに該当せず、環境への望ましくない影響は重大でないと判断され、かつ、同ガイドラインに掲げる影響を及ぼしやすい特性及び影響を受けやすい地域に該当しないため。

#### (4) 横断的事項：（※協力準備調査にて確認）

- (5) ジェンダー分類：分類未定（分類理由：協力準備調査にて確認）
- (6) その他特記事項：本事業では鋼中路式アーチ橋の建設が予定されているが、同橋の建設で必要となる鋼桁の製造や架設技術は、本邦企業が得意とする分野であり、本邦企業の参画が期待されている。

#### 4. 過去の類似案件の教訓と本事業への適用

スリランカの道路セクターの過去の案件からは、住民移転に当たって事業実施前に住民や関係者に事業の周知や意見交換を行うことが重要との教訓を得ている。本事業においても、用地取得や住民移転が必要となるが、これまでに関係組織や住民に対して複数のステークホルダー協議を開催済み。今後も、EIAの作成や住民移転計画作成過程において、関係者に対して十分な情報公開や協議が行われるようモニターしていく予定。

以 上

[別添資料] 地図

モンバサ港ゲートブリッジ建設計画 地図

